

■温暖湿潤気候

年間の気温差が大きく、夏は多雨で冬は乾燥する、温帯気候の一つです。

か行

■家族経営協定

家族による農業経営において、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

■^{カレー}華麗なる大津野菜

地域の特性に応じた特産野菜のうち、カレーに使用する5品目の野菜(ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、ブロッコリー)のことで、平成28年度からこれらを重点的に生産拡大するための経費を助成する事業を行っています。

■環境保全型農業

地域で従来から行われている方法に比べて農業や化学肥料の使用量を減らしたり、堆肥による土づくりを行うなど、環境に配慮した農業を指します。オーガニック農産物や環境こだわり農産物を生産する農業などがこれにあたります。

■観光農園

有料で観光客が農産物の収穫を体験できる、あるいは田んぼや畑を鑑賞することができる農園のことを指します。農園は農家が運営しています。

■兼業農家

同じ世帯に農業以外の仕事をする人が1人以上いる農家を意味します。なお、農業による所得が農業以外の仕事による所得よりも多い農家を第1種兼業農家、農業以外の仕事による所得が農業による所得よりも多い農家を第2種兼業農家と呼びます。

■耕作放棄地

農林業センサスにおいて定義されている統計用語で「以前耕地であったもので、過去1年以上作付けせず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」を意味します。

さ行

■自給的農家

農林業センサスにおいて定義されている統計用語で「経営耕地面積30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家」を意味します。

■市民農園

都市住民の方々がレクリエーションとしての自家用野菜・花の栽培、高齢者の生きがいづくり、生徒・児童の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のことをいいます。市農林水産課では「大津市ファミリー農園」を管理しています。

■集落営農

集落を単位として、生産工程のすべてあるいは一部について共同で取り組む組織を指します。

■食育

様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てることです。

■スマート農業

ICT、AI、IoTなど先端技術を活用する農業のことです。作業の自動化による省力化や、データの活用により高度な農業経営が可能になるなどの効果があります。例えば水田の水管理を遠隔・自動制御化するほ場水管理システムを利用することや、作業の記録をデジタル化・自動化して熟練農業者の技術・判断を継承しやすくすることや、AIを用いて病害虫の発生状況を的確に把握することなどが考えられています。

■生産緑地制度

市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用があり、公共施設などの敷地として適している500㎡以上(300㎡以上で、市が条例で定める規模に引下げ可能)の農地を都市計画に定め、建築行為などを許可制により規制し、都市農地の計画的な保全を図る制度です。市街化区域農地は宅地並み課税がされるのに対し、生産緑地は軽減措置が講じられています。